



ニッコウヒバ [日光檜葉]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 園芸品種



科名 ヒノキ科ヒノキ属 (APGⅢ)

特記 生長：普通

シノブヒバとも呼ばれ、古くから利用されてきた。葉先が特に黄色くなる品種は、オウゴンシノブヒバとも呼ばれるが、一般にはまとめてニッコウヒバと呼ぶことが多い。香りがよく、剪定時などは特によく香る。サワラの園芸品種で、ヒムロとサワラの間中型とされている。



Memo

サワラの仲間は、古くから庭園で利用されていたため園芸品種が多い。ニッコウヒバもそのひとつ。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期	(観賞には向かない)											
🍒	果実	(観賞には向かない)											
🍁	紅葉												
🌱	施肥	(不要、あるいは春先に緩効性肥料を少々)											
✂️	剪定												

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土壌	乾	○	○	湿
寒さ	強	○		弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

寒さ、日陰に強く、萌芽力があるなど適応力があり、生垣に使われてきた。丈夫だが根が浅いので乾燥に弱い。特に植え込み直後は水切れに注意し、葉を密生させるので強風に備え支柱をするとよい。

剪定

生長が速いので生垣などはこまめな刈り込みが必要。枝先に葉を密生させるため、強剪定すると枝だけが露出してしまう。生垣は5月、7月、10月の年3回剪定すると美しく維持できる。

病虫害

病虫害は少ない。